

トピックス情報

- 1) 表紙
- 2) I 期 花鳥 展覧会の「ここが見どころ」
- 3) II 期 人物 展覧会の「ここが見どころ」
- 4) III 期 吉祥 展覧会の「ここが見どころ」
- 5) ART CUBE SHOP
- 6) CAFE CUBE
- 7) 茶室 古香庵

琳派展XIII

お江戸の琳派と狩野派 -板橋区立美術館×細見美術館-

琳派シリーズの十三回目を迎える本展では、独自の視点で江戸絵画を紹介してこられた板橋区立美術館のコレクションから特に江戸の狩野派作品に焦点を当て、当館所蔵の江戸琳派作品と併せて、従来の琳派展では語れなかった魅力を伝えたいと考えています。琳派の新たな楽しみ方・見方に加え、関西圏では目にする機会の少ない江戸狩野の奥深い世界をお楽しみください。

◀ 琳派展ⅩⅢ
「お江戸の琳派と狩野派
—板橋区立美術館×細見美術館—」チラシ

細見美術館

2 0 1 0
A U T U M N
I S S U E
N U M B E R 0 3



きよはらゆきのぶ
花鳥図屏風 清原雪信筆 江戸前期 板橋美術館蔵

「絵師は男性」と思い込んでいませんか？
実は、江戸時代、狩野派にはなんと60
人もの女性絵師がいたそうです。

中でも、この清原雪信は狩野派随一と
謳われた画家。それもそのはず、父は
探幽門下の四天王の一人、久隅守景、
母は探幽の姪というまさにサラブレッド。
金地に水墨で描きた本作は、雪信作品
の中でも大作です。花鳥画の定石によ
らない松樹や瀑布による画面構成をみ
ても、雪信の意気込みが充分伝わる作
品に仕上がっています。



(部分)

狩野派随一の女性絵師 × 江戸琳派の奇才

すずききいつ
朴に尾長図 鈴木其一筆 江戸後期 細見美術館蔵

「何が気になるの？」と思わず問いか
けたくなるような尾長鳥の視線の行方。
緻密に描かれた朴の花に対し、墨や緑
青の滲みを用いた琳派お得意のたらし
込みの技法が堪能できる大きな葉。琳
派の花鳥画の主題としては朴も尾長鳥
も珍しいモチーフです。晩年の作とはい
え、大胆な画面構成からは近代絵画
の雰囲気さえも感じられます。やっぱり
其一は凄い！奇才ならではのパワフル
な一点です。



(部分)

I期
花鳥
展覧会の「こ」が見どころ

源平合戦図屏風 ^{かのう かずのぶ} 狩野一信筆 江戸前期 板橋美術館蔵

伊藤若冲もスゴイですが、ここでは劇的な人物表現で人気急上昇中の幕末の画家 狩野一信の作品をご紹介します。

彼の代表作は知る人ぞ知る、東京・増上寺の五百羅漢図100幅。おどろおどろしさ満点の究極の江戸仏画です。その五百羅漢図より少し前に描いたと思われるのが、この極彩色屏風。特にお楽しみ頂きたいのが彼独特の執拗に描かれた面貌表現。陰影をほどこし、ギョロつと目をむいた武将の顔は、まるで能面「大癡見」^{おおべしめ}のよう。一方、白さの目立つ端正な顔も見られるなど、彼の描く「顔」をとくにご覧あれ。



(部分)

じっくりお顔、拝見。

^{まつかぜむらさめ} 松風村雨図 酒井抱一筆 江戸後期 細見美術館蔵

本作は、抱一の作品なのに「琳派っぽくない」。というのも、これは彼が琳派に傾倒する以前の作品だからです。青年期の抱一は、浮世絵師で歌川派の祖、歌川豊春に倣って肉筆浮世絵を描いています。

さて、展示室でじっくり見極めることは少々難しいかもしれませんが、この松風と村雨の姉妹の顔には、繊細な筆致に描かれた「髪の生え際」「眉」「目」など、後年の抱一の優れた筆致を予期させるものがあります。さらには「頬や耳のほのかな紅」など、細部へのこだわりも見られ、抱一を知る上で欠かせない作品に仕上がっています。



(部分)

Ⅱ期 人物 展覧会の「こ」が見どころ

大黒図 狩野典信筆 江戸中期 板橋区立美術館蔵

いきなり、どアップで登場のこの人物は七福神の一人、大黒天です。チョロツと出ている鼻毛が愛らしくありませんか？ 眉毛に髭そして耳…とどれも立派ですがもっと凄いのが、絵の大きさです。実はこの作品、畳一畳を超える巨大サイズ。画面いっぱい片膝を立ててしゃがんでいる大黒様が描かれています。これだけの大黒様を描くには相当太い筆を使ったと思われます。さらに、大黒様の背景には大きな米俵と宝珠の詰まった大きな袋も描かれています。豊穰に繁栄と福々しいこと、この上なし。この軸を拝んだら、大きな^{りやく}ご利益があるかもしれません。どれだけ大きいのか、是非実物をご覧ください。



(部分)

おめでたいもの！

かけほうらいず

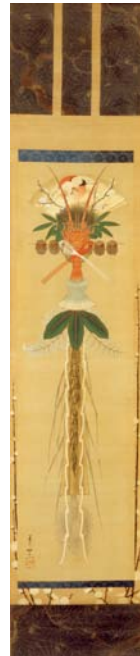
掛蓬菜図 鈴木其一筆

江戸後期 細見美術館蔵

新年のお飾りとして、床の間などに置かれる蓬菜飾りは、^{さんぼう}三方の上に白米を盛って、海老や橙、昆布に熨斗鮑などを飾ります。それを掛軸に代えたものがこの「掛蓬菜図」。立派な伊勢海老に干し柿、水引、旭日に鶴の描かれた扇子に白梅…、さらに絵の周囲は松・竹・梅の描表装。^{かきびょうそう}こんな掛軸で新年を迎えてみたい、まさにめでた尽くしの1点です。酒井抱一や鈴木其一などの作品には新年をはじめ、雛祭り、端午といった節句を祝う床飾りに相応しい作品が多く見られます。大名家や豪商などの贈答には、品格があり趣向に富む江戸琳派の作品が好まれたと思われます。



(部分)



(全図)

Ⅲ期
吉祥
展覧会の「こ」が見どころ

ARTCUBE SHOP

おすすめアイテム 「漆」

漆の歴史は古く、日本に伝来したのは縄文初期とも言われています。また江戸時代後期には漆工芸品の海外貿易が盛んとなり、海外では“japan(ジャパン)”と呼ばれ日本を代表する工芸品となりました。当店では数ある漆工芸の産地の中でも特に京都と会津に注目し、器やアクセサリなどを取り扱っております。

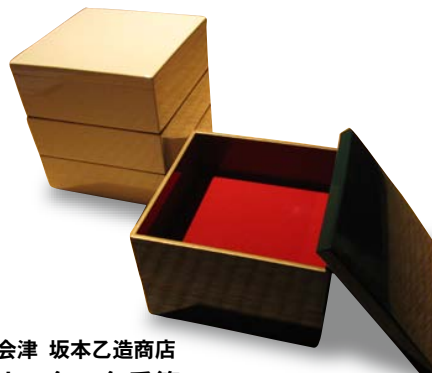
使い込むほどに味わいを増す漆を日々の暮らしに取り入れてみてはいかがでしょうか？



京漆匠 象彦
三日月盆 月に兎 ¥3,675
可愛いうさぎ柄がポイント！
朱色の部分は三日月を表しています。



京漆匠 象彦
根来平筋鉢 ¥4,200
独特の味わいがある根来塗の鉢。
色がとても鮮やかで目を惹きます。



会津 坂本乙造商店
十二色の色重箱 各¥10,500
重箱としては珍しい色も取り揃えています。中の色との対比もポイントで、蓋を開けるのが楽しみになります。



会津 坂本乙造商店
エチケツミラー 月うさぎ 各¥2,625
櫛がセットになったエチケツミラーは朱と紺の2色展開。
月を眺めているうさぎの後姿はなんとも愛らしいです。

会津 坂本理恵 アクセサリー 各種

漆独特の光沢が宝石や貴金属とはまた違う、深い味わいを感じられます。素材が木なのでとても軽く、つけていても負担にならないところも魅力です。



イヤリング ¥14,700



リング ¥17,850



ネックレス ¥14,700

ARTCUBE SHOPお問合せ先 TEL075-761-5700

CAFÉ CUBE

お問い合わせ・ご予約は
075-751-8606

Jazz Night @ CAFÉ CUBE



9/16

10/21

11/18

12/16

Jazz Vocalist 折原ようこが

毎月 素敵なミュージシャンと共に演奏致します

毎月・第3木曜日 19時スタート

¥2000(1ドリンク付き)

京都・岡崎・細見美術館 B2 CAFE CUBE

菓子工房ぐらんぶるー

「京やさいくっきい」販売START!

もっと多くの人に京野菜の季節感を味わってほしい。そんな気持ちから、京都で採れた食材にこだわり、旬の野菜をペースト状にして丹念に生地を練り込んだ焼き菓子です。

みず菜、海老いも、
九条ねぎ、堀川ごぼう・・・



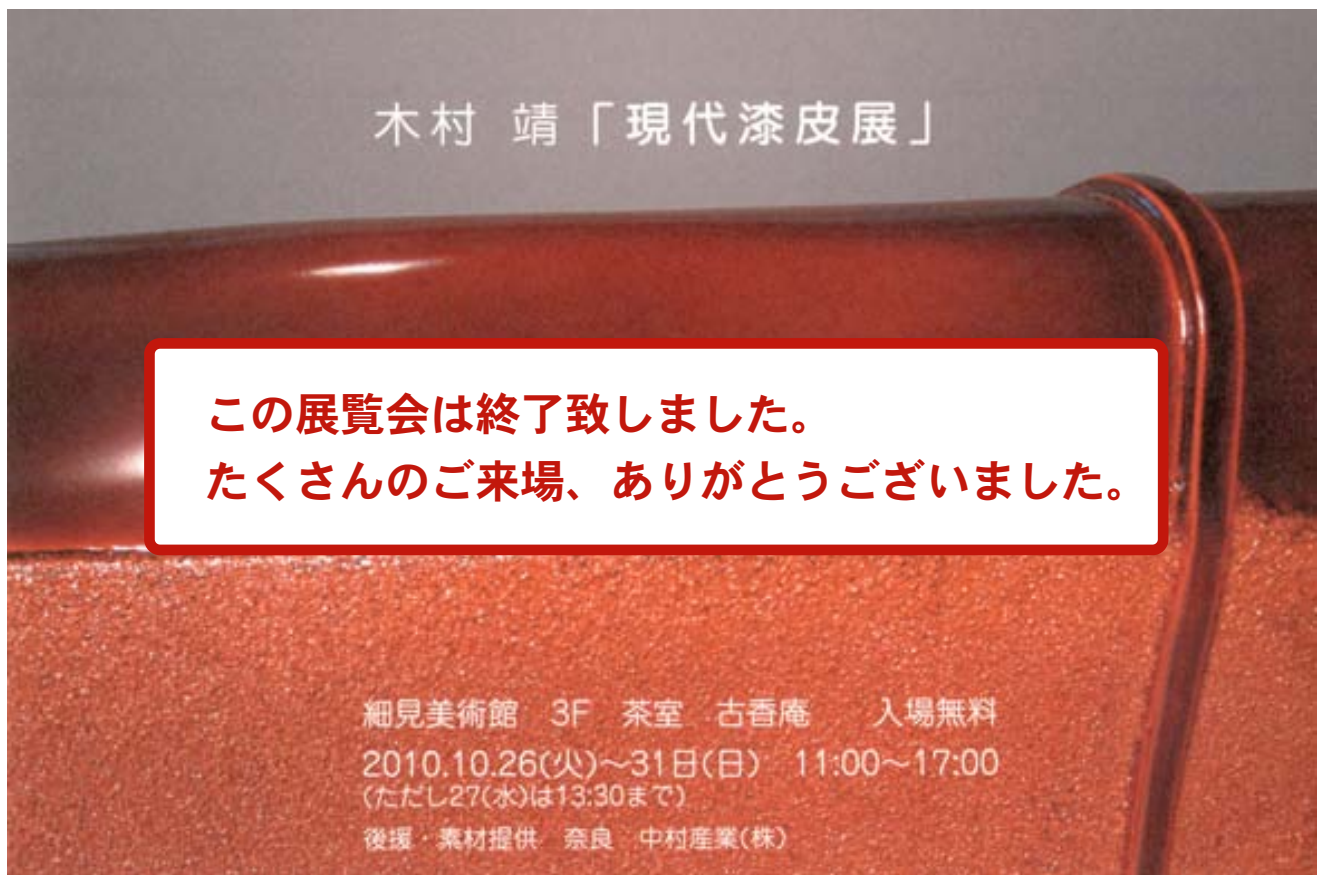
※商品内容は、
季節によって異なります。

ギフトセット(5種入り)¥840 ※1種 ¥180

茶室 古香庵

木村 靖「現代漆皮展」

2010. 10. 26(火)～31日(日)



時間：11：00～17：00 ※ただし、27日(水)は13：30まで

会場：茶室「古香庵」

入場無料

★上記イベント中は、呈茶(薄茶・干菓子)のみの営業となります。